



2020. 9. 18 ひなご幼稚園園長 神戸洋美

### リモート研修を受けて

今年は新型コロナウイルス感染予防のため、在宅ワークの方もみえると思います。私も全くそっち方面は苦手で、どのようにしたらよいのかわかりませんでした。が、所属する勉強会で Zoom 会議が始まり、議会でも万が一の事を考慮し、委員会をリモート会議で行えるようにと改革が進みつつあります。コロナによって、遅れていたデジタル化が一気に進み、便利な部分もあります。仕事面だけでなく、飲み会までリモートで出来るようになりました。

そして、ついに先生たちの研修会がリモートで開かれることになりました。春日井市私立幼稚園協議会では、年に4回先生たちの研修があり、土曜日に行われます。1学期はすでにコロナで中止となりました。2学期の研修は、1つの会場に春日井市全部の幼稚園の先生が集まることを避けるため、各幼稚園でネットでの開催となったのです。当日、職員室にスクリーンを用意し、先生たち全員で受講しました。絵本作家の方の講演で、「絵本の読み聞かせ」がいかに大切であるか、という内容でしたので、ご家庭でも活用して頂ければと思います、紹介させていただくことにしました。



### ◎絵本は感覚である。

- ①触れてみる（触れてみてときめく） ②聴いてみる（本をめくる音、言葉が音になる、音楽性の刺激）  
③嗅いでみる（紙のにおい、インク） ④見てみる（画像、四角いゾーン、本物を見る） ⑤食べてみる（絵本をかじる） ⑥感じてみる（第六感、心地よさ）

### ◎この6つの「みる」で感性を育てる。

絵本の読み聞かせは、生きているワクワク感の共有、子どもたちの自己肯定感につながる

### ◎絵本の三大要素

- ①めくることが出来る ②動かない（能動的） ③しゃべらない（ライブで語り掛ける）

絵本から授かった言葉が豊かな人生、豊かな心になる。

### ◎絵本の選び方

- ①ロングセラーを選ぶ ②芸術性があるものを選ぶ ③裏表紙で選ぶ（中身と結びついているか）

### ◎読み聞かせの方法

先生（保護者）のオリジナリティーがある、自分のテンポ・リズム・間合いで読めばよい。

当日の研修では、講師が絵本を読んでくださり、私たち大人も楽しい時間でした。読書の秋です。お子さんもきっと喜ぶと思いますので、ぜひ、ご家庭で絵本を読んであげてくださいね。

### 毎月悩む誕生会

今年の誕生会は各クラスで開催しています。3階ホールで行うと子どもたちが密になってしまうため、ソーシャルディスタンスを置くために部屋での開催となりました。最初のご挨拶は、放送で全クラスに入るので一度に終わりますが、その後の手品のプレゼントにちょっと悩んで、出し物を考えるのに苦労しています。

昨年までは3階ホールで全員に見せる事が出来たので、1回だけで終われるため、大きな道具を使ったり派手な仕掛けを使ったりして、みんなを驚かせることが出来ました。ところが、各クラスを回るとなると、終わった手品の仕掛けをすぐに元に戻して次のクラスに行かなければなりません。また目の前で行うので、ごまかしがききません。かなり緊張して演じるのとマスクの暑さも加わって、全クラスを終える頃には冷や汗と本物の汗でぐっしょり。でも子どもたちの驚きの声や表情が私のパワーになっています。どんな反応してくれるのか毎月楽しみで、持っている道具からあれこれ考えて工夫しています。悩みは楽しみでもあります。来月も頑張ります！

